

を贈る企画に参加してプレゼントされたもの。本年度の6年生もア
贈ることにしており、児童たちは「来年はもっとヒマワリを咲かせた

【webunに写真3枚】



を育てた福沢小学校6年生

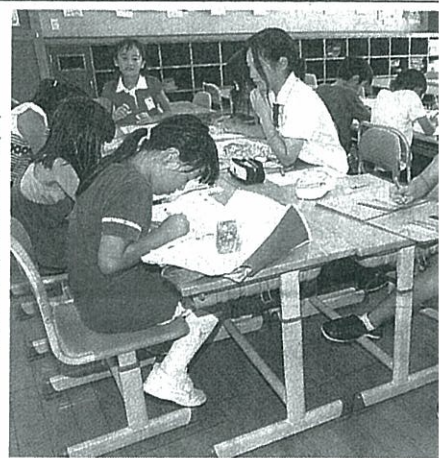
大輪に笑顔

企画は、サイズが合わな
なったシューズを集め、はだ
で生活するアフリカの子ど
もたちに贈る「スマイル・アフ
リカ・プロジェクト」。環境や
健康をテーマにした月刊誌
「ソトコト」を出版する木楽社
が昨年から事務局となつて実
施している。福沢小学校

年度プロジェクトに参
当時の6年生が集めたシ
ズ約20足を事務局を通
地の子どもたちに届け
プロジェクトの参加
は、アフリカで採れたト
リの種が事務局からプレ
トされる。同校には6月
が届き、6年生が花壇に
て、世話を続けてきた。高
高さが約2倍に成長し、
者の目を楽しませている
山岸雷蔵君（6年）は
フリカの子どものため
たくさんのシューズを集
い」と意気込んでいる。

（大沢野・大山支局長 田尻
秀幸）

平成22年8月11日付 北日本新聞掲載



高校生に勉強を教わる児童

道の日に合わせ
クリーン作戦 富山

8月10日の「道の日」に合
わせ、道路管理者などによる
合同クリーン作戦が10日、富

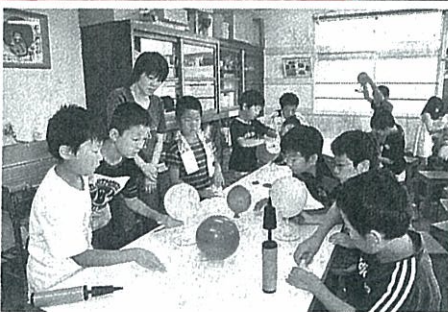


歩道に落ちている
ごみを拾う参加者

小林彩花里さん
は「勉強の教え
方が分かりやす
かった。また教
えてもらいた
い」、八尾高1
年の田村友里恵
さんは「みんな
真剣に勉強して
くれた」と話し
ていた。

山市中心部で行われ、参加者
約90人がごみ拾いに汗を流し
た。

県、市、国土交通省富山河
川国道事務所、中日本高速道
路金沢支社の道路管理者と、
北陸電力などの企業合わせて
9団体が参加。富山市役所で
行われた開会式で、同事務所
の小林正典所長が「皆さんの
姿を見てもらい、道路をきれ
いに利用する機運を高めた
い」とあいさつした。
参加者は4班に分かれて出
発。強い日差しの下、国道41
号や県道沿いの歩道に落ちて
いるごみを拾い集め、違法看
板がないかもチェックした。



市内の小学1〜6年生約20
人が参加。同センターの発明
クラブを担当する谷井俊一さ
ん（富山）が講師を務めた。
児童たちは穴の開いたフィ
ルムケースに風船を付け、C
Dの中央部に接着。風船を膨
らませてからCDを机の上に
置くと、空気が机との間に流
れ込んで滑るように動き「す
ごい」と歓声が上がった。
穴の大きさが動きが変わる
か確認したり、CDの代わり
にビニールを張ったトレーを
使ったりして、さまざまな動
き方を実験した。